

高校生が楽しいと思える街づくりに関する提言書

現在福井県では北陸新幹線の開業により、県外の人々に対して福井県の魅力を伝え、発展していく大きなチャンスを迎えています。

それに伴い、福井駅近くでも建物の取り壊しが行われており、今後福井県がどのように変わっていくか楽しみです。

しかし、今後の福井県を担っていく我々高校生の意見は反映されていくのでしょうか。

現在の福井県には高校生が楽しいと思える場所が多くはありません。高校生は就職や進学などを控えており、そういった若者が将来福井県に帰って来るかどうか、今後の福井県の継続的な発展に非常に大きくかかわってきます。つまり、高校生活は今後の福井県の発展において非常に大きな鍵を握っていると考えます。

また、福井県は他県にも誇れる名産品があるにもかかわらず、それをうまく発信できていないように感じます。これに関しても、高校生の意見を取り入れていくことで、変わっていくのではないかと考えます。

福井県の高校生が福井県を「楽しい」「魅力のある」県と感ずるため次の事項について提言します。

- 1 福井県内の空き店舗や新幹線の高架下など有効活用できるスペース等を利用してスポーツや勉強等ができる場所を増やし、若者の居場所づくりをすること
- 2 福井県の高校生が主体となって福井県をPRするようなイベント、例えば伝統工芸の体験や観光地のPRイベント等の開催を支援すること
- 3 SNS等を利用した福井県の魅力発信について、若者の意見も反映し、さらに強力に進めてくこと

令和3年8月4日

福井県知事 杉本達治様

福井精華学園 啓新高等学校

チーム「イノベーション」

脇本陽

大久保陽

玉柿清花

森本舞音